

平成 29 年度

厚生労働省保健指導支援事業人材育成事業

# 「保健指導ミーティング」実施報告

公益社団法人 日本看護協会

平成 30 年 3 月

## 目 次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 背景と実施経過               | 1  |
| 2. 平成 29 年度実施の特徴         | 2  |
| 3. 平成 29 年度実施状況          |    |
| 1) 実施期間                  | 3  |
| 2) 保健指導ミーティングの公募について     | 3  |
| 3) 開催日時・会議名・開催場所等        | 4  |
| 4) 実施結果                  |    |
| (1) 参加者の属性と延べ人数          | 5  |
| (2) 企画・実施内容              |    |
| ①周知の工夫                   | 6  |
| ②事前打合せ                   | 10 |
| ③保健指導ミーティングのプログラム内容      | 15 |
| ④実践事例発表で取り上げた事例          | 19 |
| (3) 評価                   | 20 |
| (4) 17 県から出された考察とまとめ（抜粋） | 23 |
| (5) 参加者アンケートの実施結果        | 28 |
| 4. 平成 29 年度実施結果のまとめ      | 31 |
| 5. 今後の保健指導ミーティングの開催に向けて  | 32 |

## 資 料

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| ・平成 29 年度保健指導ミーティング参加者アンケート | 36 |
|-----------------------------|----|

## 1. 背景と実施経過

少子超高齢化の急速な進展に伴い日本人の疾病構造は変化し、生活習慣病の割合が増加してきた。生涯にわたる生活の質の維持・向上のためには、健康寿命の延伸や健康格差の縮小が求められている。そのためには、発症、あるいは重症化予防の取り組みが重要かつ喫緊の課題であり、保健師にはより高度な保健指導のスキルが求められる。

一方、保健師が効果的な保健指導を行うためには、単なる講義の聴講や、ノウハウの伝達研修だけでは不十分である。地域の実情に応じた医療・看護・介護の提供体制の整備、健康的な暮らしを支える社会環境へのアプローチが重要となる。特に近年、格差社会等の背景を受け、複雑困難な事例への対応が迫られることも増加しており、行政、企業、医療機関、地域包括支援センター、健診・医療機関など多様な場で活動する保健師間の相互支援、情報共有や学びあうの場や仕組みづくりが不可欠となる。

こうした背景を受け、本会では地域保健活動の普及と充実をはかることを目的に、平成20年度から、厚生労働省より「保健指導支援事業人材育成事業」を受託し、「保健指導ミーティング」として都道府県看護協会とともに企画・開催し、今年で10年目を迎えた。開催都道府県は拡大し、市町村、都道府県・保健所、産業等、多様な分野から10年間で延べ9,000名を超える参加を得ている。

平成25年度からは、「保健指導ミーティング」の実践事例発表やグループ討議での事例検討を通じ、新任保健師に対して、新任期に必要な個別事例のアセスメント能力が育成される契機となることを目指し、新任期及び指導保健師（プリセプター）を主対象に「保健指導ミーティング」を開催。平成26年度からは本会が開発した事例検討会の手法「実践力Up 事例検討会<sup>\*1</sup>」を提示し、「保健指導ミーティング」にとり入れることを推奨し開催している。

(\*1 : 「実践力Up 事例検討会」について : 『そうだ！事例検討会をやろう！“実践力Up 事例検討会”～みて・考え・理解して～(平成25年度厚生労働省保健指導支援事業技術開発事業 報告書 平成26年3月, 公益社団法人日本看護協会)』  
<http://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/hokenshido/2014/25-hokensido-01.pdf> 参照)

### 保健指導ミーティングについて

#### 1) 保健指導ミーティングとは

「保健指導ミーティング」は、①保健師の事例検討や実践事例発表、②保健師同士のグループ討議を主たる内容とし、日本看護協会と各都道府県看護協会とが協働して企画・実施する事業である。

行政分野の保健師のみに留まらず、産業や医療・福祉・教育機関の保健師も含めて一堂に会し、事例の検討やお互いの実践を振り返り、スキルアップを図ることにより、保健師の専門性を発揮するための基盤強化を目指す研修プログラムである。

#### 2) 開催テーマ

○生活習慣病予防、他

保健指導ミーティング開始にあたり、保健指導に従事する各領域の保健師が一堂に会し、保健指導のスキルアップを図るためには、各領域の保健師に共通のテーマである「生活習慣病予防」をテーマとすることが有効であるとしている。「生活習慣病予防」をベースに、個別性の高い複雑・支援困難な事例について取り上げている。

## 2. 平成 29 年度実施の特徴

---

平成 29 年度については、平成 28 年度以前から引き続き、新任保健師及び指導保健師（プリセプター）を主な対象に開催。生活習慣病予防をテーマに取り入れ 17 県で実施した。

参加者は、行政分野にとどまらず、地域包括支援センターをはじめ、産業、健診・医療機関、福祉等の領域で働く保健師への周知に力点を置き、領域の拡大を図った。

また、自治体保健師の人材育成体制構築の推進に向けて「自治体保健師の標準的なキャリアラダー」（平成 28 年 3 月, 厚生労働省, 保健師に係る研修のあり方等に関する検討会最終とりまとめ <http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000120158.pdf>) と連動させ、新任保健師の対象をキャリアレベル A-1～A-2 相当として展開した。

引き続き、本会が開発した事例検討会の手法「実践力 Up 事例検討会\*1」を保健指導ミーティングにとり入れることを推奨し開催。また、各県の取り組みを支援するためのツールとして、本会が平成 26 年度に作成した「ファシリテーター\*2の手引き」

(<http://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/hokenshido/2015/facilitator.pdf>) を活用し、ファシリテータの育成・効果的なグループワーク実践に取り組んだ。

(\*1: 「実践力 Up 事例検討会」について: P1 参照)

(\*2: ファシリテータの表記について: 冊子の名称のため、”ファシリテーター”と表記する)

### 3. 平成 29 年度実施状況

---

#### 1) 実施期間

平成 29 年 9 月～平成 30 年 2 月

#### 2) 保健指導ミーティングの公募について

##### (1) 公募期間

平成 29 年 6 月～7 月

##### (2) 募集要件

- ① 都道府県看護協会保健師職能委員会の企画であること
- ② 新任保健師及びその指導保健師を主たる対象とした企画であること
- ③ 都道府県看護協会会長の理解が得られること
- ④ 都道府県の関係主管課と連携していること
- ⑤ 関係組織・団体と連携し、多様な活動領域（行政・地域包括支援センター、産業、健診・医療機関、福祉、その他）の保健師が参加できるように、周知が図られること
- ⑥ 平成 29 年 9 月から平成 30 年 2 月までに実施すること
- ⑦ 新任保健師自らの保健指導の実践事例の検討会をプログラムに取り入れること
- ⑧ 保健指導ミーティングの評価を行うこと
- ⑨ 以下の点に留意した保健指導ミーティングを開催できること
  - ・本会が開発した事例検討会の手法をとり入れて、ミーティングが開催できること
  - ・指導保健師自らも学ぶことに加え、新任保健師に対する今後の支援に活かすことができるよう配慮すること
  - ・新任保健師と指導保健師が、事例検討を通して得た学びを発表・意見交換するようなグループ討議の進め方やファシリテーションの工夫を行うこと

##### (3) 結果

都道府県看護協会から企画を募集、以下 17 県を採用・実施した。  
茨城県、栃木県、埼玉県、東京都、長野県、富山県、福井県、三重県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、鹿児島県

### 3) 保健指導ミーティング開催県の開催日時・会議名・開催場所・今年度含む実施回数

| 開催県  | 開催日                 | 時間                         | 会議名                                     | 主な対象者<br>(*3)  | 開場                         | 実施<br>年数<br>(*4) |
|------|---------------------|----------------------------|---|----------------|----------------------------|------------------|
| 茨城県  | 11/22(水)            | 13:30-16:30                | 平成 29 年度保健<br>指導ミーティング                  | 新任期、<br>プリセプター | 茨城県看護研修セ<br>ンター            | 9 年              |
| 栃木県  | 12/16(土)            | 10:00-16:00                | 実践力アップ保健<br>指導ミーティング                    | 新任期、<br>プリセプター | 自治医科大学 看<br>護学部 学習室        | 5 年              |
| 埼玉県  | 11/11(土)<br>12/9(土) | 13:00-17:00<br>13:00-17:00 | 平成 29 年度保健<br>指導ミーティング                  | 新任期、<br>プリセプター | 埼玉県看護協会研<br>修センター          | 5 年              |
| 東京都  | 2/17(土)             | 10:00-16:15                | 本質に迫る！実践<br>力 UP 事例検討会                  | 新任期、<br>プリセプター | 東京都看護協会                    | 5 年              |
| 長野県  | 11/28(火)            | 13:25-16:15                | 保健指導ミーティ<br>ング                          | 新任期、<br>プリセプター | 長野県看護協会                    | 3 年              |
| 富山県  | 12/9(土)             | 13:00-16:00                | 保健指導ミーティ<br>ング                          | 新任期、<br>プリセプター | 富山県看護研修セ<br>ンター            | 3 年              |
| 福井県  | 11/12(日)            | 9:00-16:30                 | ファシリテーショ<br>ンのコツがわかる<br>実践力アップ事例<br>検討会 | 新任期、<br>プリセプター | 福井県看護協会<br>会議室             | 5 年              |
| 三重県  | 12/9(土)             | 9:00-12:00                 | 実力 UP 事例検討<br>会 (保健指導ミー<br>ティング)        | 新任期、<br>プリセプター | 三重県看護協会<br>大研修室            | 4 年              |
| 大阪府  | 9/10(日)             | 10:00-16:00                | 保健指導ミーティ<br>ング                          | 新任期、<br>プリセプター | 大阪府看護協会<br>ナーショングア<br>ート大阪 | 8 年              |
| 奈良県  | 2/1(木)              | 10:00-16:00                | 保健指導ミーティ<br>ング                          | 新任期、<br>プリセプター | 奈良県 橿原総合<br>庁舎             | 2 年              |
| 和歌山県 | 12/9(土)             | 13:00-16:30                | 実力 UP 事例検討<br>会                         | 新任期、<br>プリセプター | 和歌山県看護研修<br>センター           | 6 年              |
| 岡山県  | 10/7(土)             | 13:00-16:30                | 保健指導ミーティ<br>ング                          | 新任期、<br>プリセプター | 岡山県看護会館                    | 10 年             |
| 香川県  | 11/16(木)<br>1/27(土) | 13:30-16:30<br>13:30-15:30 | 保健指導ミーティ<br>ング                          | 新任期、<br>プリセプター | 香川県看護協会<br>看護研修センター        | 9 年              |
| 愛媛県  | 12/7(金)<br>1/20(土)  | 14:00-16:00<br>10:00-12:00 | 保健指導ミーティ<br>ング事業                        | 新任期、<br>プリセプター | 今治市役所<br>愛媛県看護会館           | 4 年              |
| 福岡県  | 12/2(土)             | 10:00-16:00                | 保健指導ミーティ<br>ング                          | 新任期、<br>プリセプター | 福岡県看護協会<br>(ナースプラザ福<br>岡)  | 5 年              |
| 佐賀県  | 12/16(土)            | 9:00-12:40                 | 保健指導ミーティ<br>ング                          | 新任期、<br>プリセプター | 佐賀県看護協会                    | 7 年              |
| 鹿児島県 | 1/26(金)             | 10:00-16:00                | 保健指導ミーティ<br>ング研修会                       | 新任期、<br>プリセプター | 鹿児島県看護協会                   | 8 年              |

(\*3 主な対象者：【新任期】実務経験 1～5 年程度の保健師（新任保健師）  
 ※「対人支援活動」において、『自治体保健師の標準的なキャリアラダー』のキャリア  
 レベル A-1、A-2 に相当する保健師  
 【プリセプター】新任保健師を指導する立場にいる中堅期保健師等

(\*4 実施年数：継続した年数ではなく、平成 20 年から開催した年数の合計)

#### 4) 実施結果

##### (1) 参加者の属性と延べ人数

(単位：人)

|                     | 行政           | 医療         | 産業         | 福祉         | その他        | 合計<br>※講師除く<br>(新任期再掲) | ①参加者<br>※運営スタッフ*5<br>除く | ②運営スタッフ<br>〔うち講師〕 |
|---------------------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------------------|-------------------------|-------------------|
| 茨城県<br>(新任期再掲)      | 35<br>(22)   | 3<br>(3)   | 4<br>(4)   | 0<br>(0)   | 2<br>(1)   | 44<br>(30)             | 34                      | 11<br>〔1〕         |
| 栃木県<br>(新任期再掲)      | 28<br>(17)   | 0<br>(0)   | 4<br>(2)   | 0<br>(0)   | 2<br>(0)   | 34<br>(19)             | 19                      | 16<br>〔1〕         |
| 埼玉県1<br>(新任期再掲)     | 31<br>(19)   | 0<br>(0)   | 4<br>(1)   | 0<br>(0)   | 1<br>(0)   | 36<br>(20)             | 27                      | 11<br>〔2〕         |
| 埼玉県2<br>(新任期再掲)     | 33<br>(13)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 2<br>(0)   | 35<br>(13)             | 22                      | 14<br>〔1〕         |
| 東京都<br>(新任期再掲)      | 18<br>(6)    | 4<br>(3)   | 0<br>(0)   | 31<br>(16) | 1<br>(0)   | 54<br>(25)             | 43                      | 12<br>〔1〕         |
| 長野県<br>(新任期再掲)      | 29<br>(16)   | 2<br>(0)   | 1<br>(0)   | 0<br>(0)   | 4<br>(0)   | 36<br>(16)             | 24                      | 13<br>〔1〕         |
| 富山県<br>(新任期再掲)      | 43<br>(19)   | 0<br>(0)   | 4<br>(1)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 47<br>(20)             | 31                      | 18<br>〔2〕         |
| 福井県<br>(新任期再掲)      | 44<br>(13)   | 1<br>(0)   | 0<br>(0)   | 1<br>(0)   | 2<br>(0)   | 48<br>(13)             | 38                      | 11<br>〔1〕         |
| 三重県<br>(新任期再掲)      | 27<br>(10)   | 1<br>(0)   | 3<br>(2)   | 2<br>(2)   | 1<br>(0)   | 34<br>(14)             | 21                      | 14<br>〔1〕         |
| 大阪府<br>(新任期再掲)      | 54<br>(29)   | 1<br>(1)   | 3<br>(1)   | 4<br>(3)   | 7<br>(0)   | 69<br>(34)             | 54                      | 16<br>〔1〕         |
| 奈良県<br>(新任期再掲)      | 51<br>(26)   | 0<br>(0)   | 1<br>(1)   | 0<br>(0)   | 3<br>(0)   | 55<br>(27)             | 43                      | 14<br>〔2〕         |
| 和歌山県<br>(新任期再掲)     | 25<br>(1)    | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 25<br>(1)              | 13                      | 13<br>〔1〕         |
| 岡山県<br>(新任期再掲)      | 27<br>(7)    | 1<br>(0)   | 5<br>(1)   | 0<br>(0)   | 6<br>(0)   | 39<br>(8)              | 25                      | 14<br>〔0〕         |
| 香川県1<br>(新任期再掲)     | 39<br>(25)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 39<br>(25)             | 27                      | 13<br>〔1〕         |
| 香川県2<br>(新任期再掲)     | 19<br>(9)    | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 19<br>(9)              | 11                      | 9<br>〔1〕          |
| 愛媛県1<br>(新任期再掲)     | 4<br>(2)     | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 18<br>(6)  | 3<br>(0)   | 25<br>(8)              | 25                      | 2<br>〔2〕          |
| 愛媛県2<br>(新任期再掲)     | 39<br>(10)   | 6<br>(1)   | 0<br>(0)   | 3<br>(3)   | 1<br>(0)   | 49<br>(14)             | 36                      | 13<br>〔0〕         |
| 福岡県<br>(新任期再掲)      | 21<br>(8)    | 8<br>(2)   | 7<br>(4)   | 2<br>(2)   | 0<br>(0)   | 38<br>(16)             | 27                      | 12<br>〔1〕         |
| 佐賀県<br>(新任期再掲)      | 50<br>(22)   | 0<br>(0)   | 8<br>(5)   | 1<br>(1)   | 1<br>(0)   | 60<br>(28)             | 46                      | 15<br>〔1〕         |
| 鹿児島県<br>(新任期再掲)     | 50<br>(24)   | 1<br>(0)   | 0<br>(0)   | 0<br>(0)   | 1<br>(0)   | 52<br>(24)             | 44                      | 8<br>〔0〕          |
| 合計<br>(新任期再掲の合計)    | 667<br>(298) | 28<br>(10) | 44<br>(22) | 62<br>(33) | 37<br>(1)  | 838<br>(364)           | 610                     | 249<br>〔21〕       |
| 割合(%)<br>(新任期再掲の割合) | 80%<br>(82%) | 3%<br>(3%) | 5%<br>(6%) | 7%<br>(9%) | 4%<br>(0%) | 100%<br>(100%)         | 総参加者数(①+②)<br>859名      |                   |

(\*5 運営スタッフ：主に職能委員、加えて実践事例発表者、コーディネータ、ファシリテータ、講師、本会職員等)

## (2) 企画・実施内容

### ①周知の工夫

| 県協会 | 内容  |
|-----|---|
| 茨城県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護協会から個人会員及び会員施設（行政、産業、健診、医療、地域包括支援センター<br/>その他保健師の所属する勤務先）に開催案内を送付</li> <li>・看護協会から会員外の市町村、地域包括支援センター等に開催案内を送付</li> <li>・産業、健診領域の保健師に対して、看護協会から保険者協議会会員に開催案内を送付</li> <li>・県人材育成担当者から保健所と市町村の統括保健師宛にメールで開催案内</li> <li>・保健師職能委員による研修会等での周知</li> <li>・看護協会HPにて周知</li> </ul> |
| 栃木県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる会員の所属組織（行政・産業・医療機関・福祉施設等）へ研修案内を郵送</li> <li>・案内用チラシを作成し、各施設の保健師宛にメールにて送信</li> <li>・保健師関係の会議、研修会等において、案内用チラシの配布</li> <li>・県内の保健師の任意団体（市町保健師業務研究会、県職保健師会、産業保健師会等）への情報提供</li> <li>・会員のいない組織にも（行政等）研修案内を郵送</li> <li>・県看護協会ホームページへ開催要項を掲載し情報提供</li> </ul>                  |
| 埼玉県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連施設、保健所 16 施設、保健センター63 施設へ案内通知・チラシを郵送</li> <li>・県協会ホームページに研修案内を掲載</li> </ul>   |
| 東京都 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都看護協会ホームページによる周知</li> <li>・職能委員を通じた周知</li> <li>・特別区保健師業務連絡会・26市保健師事務連絡会を通じて各自治体保健師代表者に<br/>チラシ添付でメール連絡</li> <li>・都内全域の地域包括支援センターへ文書郵送（454か所）</li> <li>・2/10 産業保健師研修・交流会で周知</li> </ul>   |
| 長野県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県、市町村長、病院長宛への一般応募通知</li> <li>・新人保健師研修受講者への個別通知</li> <li>・ホームページ、広報での周知</li> <li>・信州公衆衛生学会、産業分野保健師会への周知</li> </ul>   |



| 県協会 | 内容   |
|-----|--|
| 富山県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員名簿に基づく周知</li> <li>・会報誌、県協会ホームページ等による周知</li> <li>・市町村、県保健師の協議会等を通じた広い呼びかけ（文書、メール等）</li> <li>・福祉、産業、医療、教育等の分野で働く保健師への呼びかけ</li> <li>・研修等の機会に周知</li> </ul>   |
| 福井県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県看護協会から文書にて会員へのご案内</li> <li>・県看護協会ホームページによる周知</li> <li>・県保健師長会より周知</li> <li>・市町保健師連絡協議会によるネットワークによる県内市町村保健師への周知</li> <li>・産業保健師への周知</li> </ul>   |
| 三重県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会報誌・県協会ホームページ等による周知</li> <li>・会員施設への文書送付</li> <li>・県内地域包括支援センター、産業医会への文書送付</li> <li>・三重県保健師協議会、三重県保健師長会、三重県市町保健師協議会への周知</li> <li>・職能委員を通じた周知（大学、事業所、医療機関を中心に）</li> </ul>   |
| 大阪府 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師が所属する施設<br/>（地域包括支援センター、産業、健診・医療機関、大学、行政機関等）へ<br/>代表者及び個人会員に案内通知を発送（計 208 通）</li> <li>・理事会において開催案内の周知</li> <li>・職能委員を通じて会員に PR（大阪府保健師長連絡会等での周知）</li> <li>・看護協会会員がいない機関に案内送付（計 47 通） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市町村保健衛生部門・保健センター等</li> <li>② 保健所</li> <li>③ 地域包括支援センター等</li> </ul> </li> <li>・大阪府市町村保健活動連絡協議会会長を通じて情報提供</li> <li>・産業分野：大阪健保組合連合会役員を通じて情報提供</li> <li>・保健師が配属されている地域包括支援センターに案内</li> </ul> |
| 奈良県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県看護協会ホームページでの周知</li> <li>・奈良県と共催し、各市町村長あてに県から開催通知を発出</li> <li>・県及び保健所課長会にて周知。保健所から管轄市町村に事前に情報提供</li> </ul>   |

| 県協会  | 内容  |
|------|---|
| 和歌山県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職能集会で、本事業を紹介</li> <li>・ 会員や施設代表者等に個別通知</li> <li>・ 会員・非会員を問わず施設代表者に通知</li> <li>・ 職能委員より参加を促進</li> <li>・ 県看護主管課からメールによる周知</li> </ul>   |
| 岡山県  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山県看護協会「教育・研修・学会計画」冊子に掲載</li> <li>・ 施設代表者会議・集会で、事例提供及びファシリテータ公募の周知</li> <li>・ 会員名簿（メール）による周知</li> <li>・ 医療機関の保健師への事例提供の呼び掛け</li> <li>・ 職能委員を通じた関係部署（市町村保健師協議会、保健師長会等含む）への周知</li> <li>・ 看護系大学等（学生）への周知</li> </ul> |
| 香川県  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護協会の平成 29 年度研修計画への掲載</li> <li>・ 看護協会会報誌「かがわ看護だより」に実施内容を掲載、フォローアップ研修への参加を呼び掛け</li> <li>・ 看護協会長から関係機関への開催案内と同時に、県の保健師所管課から同様の文書を関係機関に通知依頼</li> </ul>  |
| 愛媛県  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関に文書にて周知</li> <li>・ 保健所及び市町統括保健師へ保健師職能便りの送付</li> <li>・ 研修会の機会に周知</li> <li>・ 職能委員を通じて、保健所、市町（直営地域包括支援センター含む）への便りの送付</li> <li>・ 今治市分については、市から福祉分野（地域包括支援センターや施設等関係機関）へ文書にて周知</li> </ul>                         |
| 福岡県  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福岡県看護協会ホームページ</li> <li>・ 福岡県内の行政、企業、その他関連分野へのチラシの配布</li> <li>・ 職能委員からの声かけ</li> </ul>   |

| 県協会  | 内容  |
|------|---|
| 佐賀県  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県医務課が主催する現任教育の一環としても実施、県職保健師、市町保健師について佐賀県医務課長と佐賀県看護協会長の連名で開催通知を送付</li> <li>・ その他医療機関の会員については、会員名簿に基づき開催通知を送付</li> <li>・ 職能委員による周知と参加勧奨</li> <li>・ 把握している非会員の保健師へ開催通知を送付</li> <li>・ 佐賀県看護協会ホームページに掲載</li> </ul>                             |
| 鹿児島県 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県協会から県保健医療福祉課看護係（保健師人材育成担当部署）へ周知依頼、県内全市町村に文書にて通知。</li> <li>・ 県協会ホームページによる周知</li> <li>・ 県保健師長会より周知</li> <li>・ 県地域振興局統括保健師に周知の依頼</li> <li>・ 参加者増にむけ、案内文書に白板を使った事例検討会の様子がわかる写真を掲載</li> <li>・ 申込期間中、申し込み状況を確認し再案内を行った（効果があり、参加者が増加）</li> </ul> |

## ②事前打合せ

| 県協会 | 回数 | 参加者   | 内容  |
|-----|----|---|---|
| 茨城県 | 1回 | 職能委員、講師、<br>ファシリテータ、<br>運営関係者                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムスケジュール及び資料の確認</li> <li>・ファシリテータの役割の確認とグループワークの進め方、研修</li> <li>・役割、タイムスケジュールの確認</li> <li>・事例紹介・共有</li> </ul>  |
| 栃木県 | 1回 | 職能委員、講師、<br>ファシリテータ、<br>運営関係者                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日、研修会場、コーディネータの決定</li> <li>・事例（領域）及びテーマの検討</li> <li>・講師の検討、開催準備スケジュール講師決定</li> <li>・開催5年経過し、参加者（個人・自治体）へのアンケートについて</li> <li>・事例検討、グループワーク、講義の流れ等を確認</li> <li>・申込人数、申し込み方法の確認</li> <li>・事例提出（方法）等について</li> </ul> |
| 埼玉県 | 1回 | 職能委員、ファシリテータ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修プログラムの説明と役割分担の検討・確認</li> </ul>  |
| 東京都 | 1回 | 職能委員（ファシリテータ兼務）、<br>講師                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の事前把握方法の確認</li> <li>・事例の妥当性とヒアリング</li> <li>・当日の進め方（タイムスケジュール、資料）の確認</li> <li>・ファシリテータ・板書係の決定と役割の確認</li> <li>・事後アンケートの様式の確認</li> </ul>  |
| 長野県 | 2回 | 職能委員、講師、<br>実践事例発表者、<br>コーディネータ<br>（講師兼務）、<br>ファシリテータ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職能委員による事例検討会</li> <li>・ファシリテータ、板書、アセスメントの分類を学ぶ</li> <li>・事例の要点の確認</li> <li>・事例提供の理由と概要の確認</li> <li>・ファシリテータとコーディネータの各事例の支援目的と支援策の検討・確認</li> </ul>   |
| 富山県 | 3回 | 職能委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例提出者、ファシリテータの選出</li> <li>・周知方法の検討、役割分担</li> <li>・事例提出者、ファシリテータの選出</li> <li>・周知方法の検討、役割分担</li> <li>・保健指導ミーティングの評価</li> <li>・次年度の検討</li> </ul>   |

| 県協会 | 回数 | 参加者     | 内容  |
|-----|----|---------|---|
| 福井県 | 3回 | 職能委員    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師選定</li> <li>・ 内容について</li> <li>・ 予算執行について</li> <li>・ 全体進行の確認</li> <li>・ タイムスケジュール決め</li> <li>・ 広報・周知・参加者の概要の共有</li> <li>・ 参加者配布資料の確認<br/>(ポートフォリオ、アンケート、講義資料等)</li> <li>・ 役割分担<br/>(会場設営、講師選定、準備物品の用意、グループ分け)</li> <li>・ 当日の進行および役割の確認</li> </ul>             |
| 三重県 | 3回 | 職能委員、講師 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業概要について</li> <li>・ 講師、ファシリテータ、事例提供者等の選抜について</li> <li>・ 当日の進行、役割分担等について</li> <li>・ 事例内容にかかる打合せ</li> <li>・ 講師、ファシリテータとの進行にかかる打合せ</li> <li>・ 周知方法、評価方法等について</li> <li>・ 各役割分担の再確認と会場設定等について</li> </ul>  |
| 大阪府 | 3回 | 職能委員    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート集計に関する役割分担</li> <li>・ 検討事例の確認</li> <li>・ 周知方法について検討</li> <li>・ 参加申し込み状況とグループ分けについて</li> <li>・ スタッフ役割分担の確認、当日進め方の確認</li> <li>・ 会場レイアウトの検討</li> <li>・ 全体タイムスケジュールの修正</li> <li>・ 会場設営について</li> </ul>   |
| 奈良県 | 4回 | 職能委員    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健指導ミーティング開催の目的、目標について</li> <li>・ 職能委員と県との役割分担について</li> <li>・ ファシリテータ研修について</li> <li>・ 当日の具体的なスケジュールについて</li> <li>・ 必要物品、資料、講師への連絡等の確認</li> <li>・ ファシリテータ研修</li> <li>・ 当日スケジュール等の最終確認</li> <li>・ 役割分担、参加者グループ分け</li> <li>・ デモンストラーション及び事例検討の進行確認、練習</li> </ul> |

| 県協会  | 回数 | 参加者                                  | 内容  |
|------|----|--------------------------------------|---|
| 和歌山県 | 2回 | 職能委員、コーディネータ、県行政関係者                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の概要・目的・目標の設定について</li> <li>・ 実行委員会の開催日程について</li> <li>・ 案内文内容、周知について</li> <li>・ 講師、プログラムについて</li> <li>・ 事業内容の検討について</li> <li>・ 実践力UP事例検討会の手法について</li> <li>・ 留意点、タイムスケジュールについて</li> <li>・ 講師、事例提供者について</li> <li>・ 当日の役割分担、準備物品について</li> <li>・ アンケート作成</li> </ul>  |
| 岡山県  | 2回 | 職能委員、実践事例発表者、コーディネータ、ファシリテータ、他県行政関係者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例選考（2事例）</li> <li>・ 事例ごとのファシリテータ・記録係担当と時間配分等について</li> <li>・ 事例発表者、コーディネータ、ファシリテータ、職能委員で当日進行について確認</li> </ul>  |
| 香川県  | 5回 | 職能委員、講師、実践事例発表者、ファシリテータ              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画、案内文の作成</li> <li>・ 日程、事例について</li> <li>・ ファシリテータ研修の内容を検討<br/>タイムスケジュール・担当決め、チラシ作成</li> <li>・ 保健師職能委員及び中堅期保健師研修受講者を対象に、事例検討のねらいとファシリテータの役割について研修</li> <li>・ ファシリテータ研修を終えて、保健指導ミーティング時のファシリテータの役割について確認</li> <li>・ 全体の打ち合わせ（役割分担、ファシリテータの役割等確認）と会場設営</li> <li>・ アンケートの集計</li> <li>・ フォローアップ研修案内文書作成</li> <li>・ 全体の打ち合わせ（役割分担）、グループ分け及び会場設営</li> <li>・ アンケートの集計</li> <li>・ フォローアップ研修実施後の反省会</li> <li>・ 保健指導ミーティング実施報告書の作成</li> </ul> |

| 県協会 | 回数  | 参加者                                       | 内容  |
|-----|---|---|---|
| 愛媛県 | 4回  | 職能委員                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度保健指導ミーティング事業の概要</li> <li>・担当者の決定</li> <li>・実施内容「入門編」と「ファシリテータ編」について</li> <li>・事例提供について</li> <li>・昨年度の実施状況及び反省点</li> <li>・講義の内容について</li> <li>・当日の進行について</li> <li>・参加者数とグループ分け</li> <li>・役割分担について<br/>(事例提供者の確定とファシリテータ、<br/>職能委員の当日の役割)</li> </ul>   |
| 福岡県 | 5回<br>(保健師職<br>能委員会)<br>※20～30回<br>(保健師職<br>能委員会以<br>外、メール<br>を中心とし<br>た協議) | 職能委員、講師、<br>実践事例発表者、<br>コーディネータ、<br>板書協力者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者による研修要項(案)の提示と共有</li> <li>・研修開催までの計画と役割分担確認、<br/>事例提供者確保についての検討</li> <li>・担当者による研修要項(修正案)の提示と共有</li> <li>・チラシ作成やホームページ掲載による周知<br/>それに伴う受付方法・期限も含めた広報について</li> <li>・事例提供者および講師への依頼文送付・謝礼等の<br/>確認、および「事例提供に際する倫理的配慮」の確認</li> <li>・事例提供者とファシリテータが情報共有する<br/>ための「事例検討シート」、参加者全員による<br/>「事例検討会振り返りシート」「アンケート」の検討</li> <li>・参加申込み状況の確認と、人数に合わせた会場設営・<br/>進行・時間配分等の検討</li> <li>・事例提供の仕方、事例提供に関わる倫理的配慮など<br/>の確認および事例提供者の不安の緩和、事例の共有</li> <li>・全体ファシリテータおよび全体進行(職能委員兼)、<br/>事例提供者、グループファシリテータ、板書係との<br/>最終打ち合わせ</li> <li>・研修企画、実施についての協議</li> </ul> |

| 県協会  | 回数 | 参加者                   | 内容   |
|------|----|-----------------------|--|
| 佐賀県  | 4回 | 職能委員、ファシリテータ、看護協会スタッフ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時、場所の決定</li> <li>・開催要領（案）の検討</li> <li>・講師の決定</li> <li>・参加者への周知方法について</li> <li>・事例提供者、ファシリテータへの依頼について</li> <li>・具体的な手順の検討、必要物品の確認、役割分担の決定について</li> <li>・アンケート内容の確認について</li> <li>・事例検討の進め方、ファシリテータの役割の確認について</li> <li>・事例提供者との打ち合わせについて（ファシリテータに依頼）</li> <li>・当日の役割の再確認</li> <li>・当日運営の反省について</li> <li>・アンケート集計</li> </ul>  |
| 鹿児島県 | 6回 | 職能委員、ファシリテータ          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の保健指導ミーティングの実施内容について</li> <li>・予算計画について</li> <li>・今年度の事業内容について検討</li> <li>・当日の内容について検討</li> <li>・案内文書の内容について検討</li> <li>・参加状況の確認と参加者への声かけについて</li> <li>・当日の進め方、スケジュール、必要物品について</li> <li>・アンケート内容について</li> <li>・事例提供者について</li> <li>・事例検討会のデモンストレーション（読み合わせ）の実施</li> <li>・今回実施分の内容についての打ち合わせ：目的、目標、事業内容、当日の流れ、役割等について</li> <li>・当日の流れの確認</li> <li>・役割分担の確認</li> <li>・実施内容について、参加者アンケートを基に反省、評価の検討</li> <li>・今後の事例検討会実践普及のための取り組みについて</li> </ul> |



### ③保健指導ミーティングのプログラム内容

| 県協会        | 講演・講義   | 事例数 | グループ討議<br>(構成)   | グループ討議<br>(テーマ)  |
|------------|---|-----|--|--|
| 茨城県        | 1名<br>事例検討会の必要性・実践力UP事例検討会とは  | 4事例 | 7～9人×4グループ   | 特定保健指導G, 介護予防G, 精神保健G, 母子保健Gの4つのグループで出された事例について事例を検討   |
| 栃木県        | 1名<br>・新任期保健師の保健指導技術のスキルアップを図るための効果的支援とは～メンタルヘルス課題を考慮した情報の取り方、支援の方向性の考え方～ | 4事例 | 5～6人×4グループ<br>2回   | <ul style="list-style-type: none"> <li>実践力UP事例検討会<br/>自らの保健指導を振り返りながら、検討事例の情報整理、アセスメント、具体的な支援策について検討する一連のプロセスを学ぶ</li> <li>新任期、中堅期に分かれて事例検討会の体験を踏まえて以下のテーマでの話し合いを実施<br/>新任期：保健指導ミーティングを受けて気づいたこと、学んだこと<br/>中堅期：新任期の保健師が求める望ましい指導とは、本日の学び、気づき</li> </ul> |
| 埼玉県<br>1回目 | 2名<br>・面接の基礎<br>・自分自身のキャリアを考える  | 1事例 | 4～5人×5グループ<br>2回   | <ul style="list-style-type: none"> <li>模擬事例を用いて、主訴・見立て・関わり方について話し合う</li> <li>面接技術を学ぶ（相談の受け取り方の癖、自分の特徴を知る）</li> <li>事例検討会（情報の整理・アセスメント）</li> </ul>  |
| 埼玉県<br>2回目 | 1名<br>・スキルアップにつながる事例検討会   | 1事例 | 6～7人×5グループ<br>1回   | 模擬事例を基に、情報の整理、アセスメントをして支援計画を立てる  |
| 東京都        | 1名<br>・「アセスメントを深めるためのファシリテータの手引き」に基づいた事例検討のすすめ方<br>・事例を通してアセスメントを深める      | 2事例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介<br/>3～5人×11グループ 2回</li> <li>事例検討<br/>26人×2グループ<br/>1回</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介 困っていること 学びたいこと</li> <li>事例検討<br/>Aグループ「精神障害で服薬管理が上手くできず幻聴に苦しむ事例」<br/>Bグループ「知的に問題があると思われるが医療・健診状況不明でやや肥満、両親とも認知症・要介護者だが介入に拒否的な事例」</li> <li>学んだこと 活かしたいこと 疑問点<br/>気づいたこと</li> </ul>                          |
| 長野県        | 1名<br>「事例検討の意義と方法」  | 3事例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>6人×2グループ<br/>1回</li> <li>4人×3グループ<br/>1回</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患をテーマ<br/>「医療観察期間を終えたケースの支援」</li> <li>生活習慣病をテーマ<br/>「肥満・異常所見のある40代従業員が、生活改善への行動変容をとれず、経年的に体重増加している事例」</li> <li>母子をテーマ<br/>「精神疾患の妊婦と子育て支援についての事例」</li> </ul>  |

| 県協会 | 講演・講義  | 事例数 | グループ討議<br>(構成)                         | グループ討議<br>(テーマ)   |
|-----|--|-----|--|---|
| 富山県 | 1名<br>「実践力アップのための事例検討会の必要性とその方法」                         | 1事例 | 10人×5<br>グループ<br>1回                    | 事例検討 アセスメントから実施計画まで   |
| 福井県 | 1名<br>「実践力UP事例検討会」と進め方レクチャー                              | 4事例 | 7～8人×<br>4グループ<br>1回                   | 事例提供者による「今回、この事例を事例検討に提出しようと思った理由」に基づいて対象者の理解に向けて、事実と想像・印象を整理、アセスメントし、具体的支援を長期目標・短期目標それぞれについて話し合う   |
| 三重県 | 1名<br>「事例検討会の意義と進め方」                                     | 1事例 | 7人×3<br>グループ<br>1回                     | 事例検討を通して学んだこと、気づいたこと、課題、感想について  |
| 大阪府 | 1名<br>「保健師スキルを磨こう」－目からウロコの事例検討－                          | 5事例 | 9～12人×<br>5グループ<br>1回                  | 事例検討<br>①質疑応答による情報の整理<br>②アセスメント<br>③支援の方向性と役割の確認<br>④振り返り<br>事例検討後、グループワーク<br>テーマ「今後の自身の保健師活動について」   |
| 奈良県 | 2名<br>・「事例検討会を検討するアセスメントのポイント」<br>・「キャリアラダーにおける事例検討の重要性」 | 5事例 | 5人×1グループ<br>6人×1グループ<br>7人×3グループ<br>1回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲のサポートがない、経済的に不安定な母子家庭の妊婦</li> <li>・メタボリックシンドローム予備軍で精神疾患を持つ女性</li> <li>・生活リズムが整わず、家に閉じこもりがちになっている事例</li> <li>・事故予防が不十分で、保健指導が入りにくい事例</li> <li>・自己流のダイエットにて体重増減を繰り返し、血液データの改善が見られないケース</li> </ul> |

| 県協会        | 講演・講義   | 事例数 | グループ討議<br>(構成)         | グループ討議<br>(テーマ)  |
|------------|---|-----|------------------------|--|
| 和歌山県       | 2名<br>・「生活習慣病予防の取り組み」<br>～子育て世代からの生活習慣病予防～<br>・事例検討の進め方 | 2事例 | 9～10人<br>× 2グループ<br>1回 | ・事例検討（実践力UP事例検討会）実施<br>生活習慣病予防の事例<br>母子の事例<br>・事例検討実施後の振り返り<br>事例検討を通じての気づき<br>今後の各職場における事例検討の実施について |
| 岡山県        | 1名<br>「実践力UP事例検討会を体験しよう！」                               | 2事例 | 26人 ×1<br>グループ<br>2回   | 効果的な保健指導のあり方について   |
| 香川県<br>1回目 | 1名<br>「対象の捉え方・効果的な保健指導」                                 | 5事例 | 7～8人 ×<br>5グループ<br>1回  | ・実践事例発表の気づき<br>・事例を通しての自らの保健指導の振り返り<br>・保健師同士のネットワーク形成   |
| 香川県<br>2回目 | 1名<br>「保健指導のワンポイントアドバイス」                                | 5事例 | 5～6人 ×<br>2グループ<br>1回  | ・前回ミーティング事例のその後について<br>・保健師同士のネットワーク形成   |
| 愛媛県<br>1回目 | 1名<br>「実践力UP事例検討会の手法～実践力UP事例検討会とは～」                     | 2事例 | 10人～12人 ×2グループ<br>1回   | ・「複数の疾患があり、視覚・聴力障害のためコミュニケーションがとりにくく、福祉サービス利用を拒否されている事例」<br>実践力UP事例検討会の演習と演習後の振り返りと学び                |
| 愛媛県<br>2回目 | 1名<br>「実践力UP事例検討会の手法」<br>入門編、ファシリテータ編                   | 5事例 | 10人～12人 ×5グループ<br>1回   | 実践力UP事例検討会の演習と演習後の振り返りと学び  |

| 県協会  | 講演・講義   | 事例数  | グループ討議<br>(構成)                                   | グループ討議<br>(テーマ)   |
|------|---|------|--|---|
| 福岡県  | 1名<br>「実践力 Up 事例<br>検討会のすすめ<br>方」                 | 4 事例 | 約 7 人 ×<br>4 グループ<br>1 回                         | A：産業（生活習慣病）<br>B：行政（精神保健）<br>C：行政（母子保健）<br>D：行政（高齢者包括）  |
| 佐賀県  | 1名<br>「保健指導に活用<br>できるブリーフコ<br>ーチングとアサー<br>ションスキル」 | 5 事例 | 10 人 ×<br>4 グル<br>ープ、11 人<br>× 1 グル<br>ープ<br>1 回 | A：精神疾患をもつ人への糖尿病の支援<br>B：妊娠糖尿病と巨大児の母子に対する支援<br>C：毎年医療機関受診拒否している HbA1c 11<br>の住民への関わり<br>E：産後の体調回復が思わしくない母と<br>その児への支援について<br>F：服薬中断しているが医療介入ある<br>統合失調症患者と家族への支援について   |
| 鹿児島県 | 事例検討会説明<br>デモンストレーシ<br>ョン                         | 6 事例 | 8～9 人<br>× 6 グル<br>ープ<br>1 回                     | ①パートナーから DV あり第 5 子妊娠している<br>母親と健診未受診の第 4 子への支援<br>②高血圧，脳梗塞疑いのある閉じこもりの妻<br>と介入拒否のある夫への支援方法に苦慮<br>している事例<br>③糖尿病があり，精神状態も不安定で，<br>暴力行為がみられる者への対応について<br>④広域的に支援が必要な母子への対応に<br>ついて<br>⑤呼吸状態の不安定さがあり，24 時間<br>酸素管理が必要で在宅に向けた調整入院中<br>のケース<br>⑥パーキンソン病があり，精神的に不安定な<br>ケースへの対応について |

#### ④実践事例発表で取り上げた事例

生活習慣病予防をベースに、個別性の高い複雑・支援困難な事例について取り上げた。

| 県協会          | 内容  |
|--------------|---|
| 茨城県          | 40代女性高血糖状態が続いており糖尿病になるリスクがある事例 他3事例                       |
| 栃木県          | 本人の努力が成果として現れない特定保健指導対象者への支援 他3事例                         |
| 埼玉県          | 【1回目2回目共通】模擬事例にて実施  |
| 東京都          | 知的に問題があると思われるが医療・健診状況不明でやや肥満、両親とも認知症・要介護者だが介入に拒否的な事例 他1事例 |
| 長野県          | 肥満・異常所見のある40代従業員が、生活改善への行動変容をとれず、経年的に体重増加している事例 他2事例      |
| 富山県          | 糖尿病と統合失調症の治療をしている患者への支援 他4事例                              |
| 福井県          | 高度肥満で生活習慣病リスクがあり、減量の意欲はあるが、生活改善の実効性に欠け、受診も拒む事例 他3事例       |
| 三重県          | 特発性拡張型心筋症をもつ支援者が少なく、生活習慣に問題のある在宅療養中の事例                    |
| 大阪府          | 糖尿病治療中であるが、家族の介護により自身の療養行動が取れない患者の事例 他4事例                 |
| 奈良県          | メタボリックシンドローム予備軍で精神疾患を持つ女性 他4事例                            |
| 和歌山県         | 生活習慣の改善に手助けが必要な精神疾患のある40歳代の方へのかかわり 他1事例                   |
| 岡山県          | 意思疎通が困難な精神障がい者への特定保健指導 他1事例                               |
| 香川県          | 【1回目、2回目共通】統合失調症で糖尿病を持つ引きこもりの人への支援 他4事例                   |
| 愛媛県<br>【1回目】 | 高血圧を患っているが生活習慣が乱れている独居男性の事例 他1事例                          |
| 愛媛県<br>【2回目】 | 糖尿病治療中で一人暮らしをしている男性の事例 他4事例                               |
| 福岡県          | 特定保健指導等を繰り返すも、効果が見られず事態が多方面で悪化する男性への関わり 他3事例              |
| 佐賀県          | 精神疾患をもつ人への糖尿病の支援 他4事例                                     |
| 鹿児島県         | 高血圧、脳梗塞の疑いのある閉じこもりの妻と介入拒否のある夫への支援方法に苦慮している事例 他5事例         |

### (3) 評価

実施 17 県の保健師職能委員長に、所定の評価項目・評価基準（4.非常にそう思う 3.ややそう思う 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない）を提示し、評価を依頼した。結果は以下のとおり。

#### <実施評価>

9 項目全ての平均は 3.0 以上であり、特に「目標が達成できるように、実践事例発表を行えたか」「グループ討議では、参加者一人ひとりが発言できたか」「プログラム運営に必要な人員・人材を確保できたか」の 3 項目は 平均 3.9 と高評価であったが、「様々な領域から新任期の保健師を集められたか」に関しては 17 県中 7 県が『あまりそう思わない』と評価した。

(4.非常にそう思う 3.ややそう思う 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない)

|      | 評価項目                         |                        |                   |                          |                              |                           |                                    |                                       |                          |
|------|------------------------------|------------------------|-------------------|--------------------------|------------------------------|---------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------|
|      | ①新任の保健師が自らの実践事例を発表することができたか。 | ②多様な領域から新任期の保健師を集められたか | ③数多くの保健師の参加が得られたか | ④目標が達成できるように、実践事例発表を行えたか | ⑤目標が達成できるように、工夫してグループ討議を行えたか | ⑥グループ討議では、参加者一人ひとりが発言できたか | ⑦ファシリテータは、目標が達成できるようにグループ討議を進行できたか | ⑧プログラム内容は参加者に適したものであったか（参加者の反応等からの評価） | ⑨プログラム運営に必要な人員・人材を確保できたか |
| 茨城県  | 4                            | 4                      | 3                 | 4                        | 4                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 栃木県  | 3                            | 2                      | 3                 | 4                        | 3                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 埼玉県  | 4                            | 2                      | 3                 | 3                        | 4                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 東京都  | 4                            | 4                      | 4                 | 4                        | 4                            | 3                         | 4                                  | 3                                     | 4                        |
| 長野県  | 3                            | 2                      | 3                 | 4                        | 3                            | 4                         | 4                                  | 3                                     | 4                        |
| 富山県  | 4                            | 3                      | 4                 | 4                        | 4                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 福井県  | 4                            | 2                      | 4                 | 4                        | 4                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 3                        |
| 三重県  | 4                            | 4                      | 3                 | 4                        | 4                            | 3                         | 4                                  | 3                                     | 4                        |
| 大阪府  | 4                            | 4                      | 4                 | 4                        | 4                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 奈良県  | 4                            | 2                      | 3                 | 4                        | 4                            | 4                         | 3                                  | 3                                     | 4                        |
| 和歌山県 | 2                            | 2                      | 2                 | 4                        | 4                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 岡山県  | 3                            | 3                      | 3                 | 4                        | 3                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 香川県  | 4                            | 2                      | 2                 | 4                        | 4                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 愛媛県  | 4                            | 4                      | 4                 | 4                        | 3                            | 4                         | 3                                  | 4                                     | 4                        |
| 福岡県  | 3                            | 4                      | 3                 | 4                        | 4                            | 4                         | 4                                  | 4                                     | 4                        |
| 佐賀県  | 4                            | 3                      | 4                 | 4                        | 3                            | 4                         | 3                                  | 4                                     | 4                        |
| 鹿児島県 | 4                            | 4                      | 3                 | 3                        | 4                            | 4                         | 3                                  | 3                                     | 4                        |
| 平均   | 3.6                          | 3.0                    | 3.2               | 3.9                      | 3.7                          | 3.9                       | 3.8                                | 3.7                                   | 3.9                      |

<結果評価>

9項目中8項目について平均3.0以上であった。「新任の保健師が自身の実践を振り返ることができたか」「自身の考え方や行動の問題点を意識する機会となったか」「保健指導のスキルアップの動機付けのきっかけになったか」「参加者の満足を得ることができた」の4項目が平均3.8と高評価であった。「業務に関連する情報交換ができるような仲間づくりができたか」が平均2.9と低かった。

(4.非常にそう思う 3.ややそう思う 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない)

|      | 評価項目                       |                                 |                                       |                                   |                                     |                                      |   |                    |   |
|------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|---|--------------------|---|
|      | ① 新任の保健師が自身の実践を振り返ることができたか | ② 新任の保健師が自身の強化すべきスキルに気付くことができたか | ③ 参加者同士が、業務に関連する情報交換ができるような仲間づくりができたか | ④ 参加者同士が、業務に関連する連携ができるような見通しがたったか | ⑤ 参加者にとって、自身の考え方や行動の問題点を意識する機会となったか | ⑥ 参加者にとって、保健指導のスキルアップの動機付けのきっかけになったか | ⑦ 指導保健師（プリセプター）にとって、新任保健師への関わり方を振り返るきっかけになったか | ⑧ 参加者の満足を得ることができたか | ⑨ 県協会と関係機関等が、連携して保健師の人材育成に取り組める関係性を構築できたか |
| 茨城県  | 4                          | 4                               | 3                                     | 3                                 | 4                                   | 4                                    | 3   | 3                  | 4   |
| 栃木県  | 4                          | 4                               | 3                                     | 3                                 | 4                                   | 4                                    | 4   | 4                  | 4   |
| 埼玉県  | 4                          | 4                               | 2                                     | 2                                 | 4                                   | 4                                    | 4   | 4                  | 2   |
| 東京都  | 4                          | 3                               | 3                                     | 3                                 | 3                                   | 4                                    | 3   | 3                  | 3   |
| 長野県  | 4                          | 3                               | 2                                     | 2                                 | 4                                   | 3                                    | 3   | 4                  | 3   |
| 富山県  | 4                          | 4                               | 3                                     | 4                                 | 4                                   | 4                                    | 4   | 4                  | 4   |
| 福井県  | 4                          | 4                               | 4                                     | 3                                 | 4                                   | 4                                    | 3   | 4                  | 4   |
| 三重県  | 4                          | 3                               | 3                                     | 3                                 | 4                                   | 4                                    | 3   | 3                  | 3   |
| 大阪府  | 4                          | 4                               | 3                                     | 4                                 | 4                                   | 4                                    | 4   | 4                  | 4   |
| 奈良県  | 3                          | 3                               | 2                                     | 3                                 | 4                                   | 4                                    | 3   | 4                  | 3   |
| 和歌山県 | 4                          | 4                               | 3                                     | 3                                 | 4                                   | 4                                    | 3   | 4                  | 4   |
| 岡山県  | 4                          | 4                               | 3                                     | 4                                 | 4                                   | 4                                    | 2   | 4                  | 3   |
| 香川県  | 4                          | 4                               | 3                                     | 2                                 | 4                                   | 4                                    | 3   | 4                  | 4   |
| 愛媛県  | 4                          | 4                               | 3                                     | 3                                 | 4                                   | 4                                    | 3   | 4                  | 4   |
| 福岡県  | 3                          | 3                               | 3                                     | 3                                 | 3                                   | 3                                    | 1   | 4                  | 3   |
| 佐賀県  | 4                          | 4                               | 3                                     | 4                                 | 4                                   | 3                                    | 3   | 4                  | 4   |
| 鹿児島県 | 3                          | 3                               | 4                                     | 4                                 | 3                                   | 3                                    | 4   | 4                  | 4   |
| 平均   | 3.8                        | 3.6                             | 2.9                                   | 3.1                               | 3.8                                 | 3.8                                  | 3.1   | 3.8                | 3.5                                       |

<企画評価>

9項目全ての平均は3.0以上であり、5項目が平均3.8と評価が高かった。「多様な領域の保健師の参加が得られるよう、周知できたか」(平均3.2)「多様な領域の保健師の参加を得るために適切な企画内容だったか」(平均3.4)とやや低く、多様な領域の保健師の参加への方策が課題である。

(4.非常にそう思う 3.ややそう思う 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない)

|      | 評価項目                            |                                   |                             |                                |                     |                           |                                 |                          |                            |
|------|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------------------|--------------------------|----------------------------|
|      | ①新任の保健師を主な対象とした事業として適切な企画内容だったか | ②保健指導ミーティングの開催時期・開催場所・実施時間は適切だったか | ③多様な領域の保健師の参加が得られるよう、周知できたか | ④多様な領域の保健師の参加を得るために適切な企画内容だったか | ⑤事業の目的・目標の設定は適切だったか | ⑥目的・目標について関係者間で事前共有できていたか | ⑦事業の目的・目標に対し、プログラムの構成・内容は適切だったか | ⑧企画段階で、必要な人材の参加・協力を得られたか | ⑨関係機関等と協働・連携するための働きかけはできたか |
| 茨城県  | 4                               | 4                                 | 4                           | 4                              | 4                   | 4                         | 4                               | 4                        | 4                          |
| 栃木県  | 4                               | 4                                 | 3                           | 4                              | 4                   | 4                         | 4                               | 4                        | 4                          |
| 埼玉県  | 4                               | 4                                 | 2                           | 3                              | 4                   | 4                         | 4                               | 4                        | 3                          |
| 東京都  | 4                               | 4                                 | 4                           | 4                              | 4                   | 3                         | 3                               | 4                        | 3                          |
| 長野県  | 4                               | 3                                 | 2                           | 4                              | 4                   | 4                         | 4                               | 3                        | 3                          |
| 富山県  | 4                               | 4                                 | 2                           | 3                              | 4                   | 4                         | 4                               | 4                        | 4                          |
| 福井県  | 3                               | 4                                 | 4                           | 4                              | 4                   | 4                         | 4                               | 4                        | 4                          |
| 三重県  | 4                               | 3                                 | 3                           | 3                              | 3                   | 3                         | 3                               | 4                        | 3                          |
| 大阪府  | 4                               | 4                                 | 4                           | 4                              | 4                   | 4                         | 4                               | 3                        | 4                          |
| 奈良県  | 4                               | 3                                 | 2                           | 2                              | 4                   | 4                         | 4                               | 4                        | 4                          |
| 和歌山県 | 3                               | 4                                 | 4                           | 4                              | 4                   | 4                         | 4                               | 4                        | 4                          |
| 岡山県  | 3                               | 3                                 | 3                           | 4                              | 4                   | 4                         | 4                               | 3                        | 3                          |
| 香川県  | 4                               | 3                                 | 3                           | 2                              | 4                   | 4                         | 3                               | 4                        | 3                          |
| 愛媛県  | 4                               | 4                                 | 4                           | 4                              | 4                   | 4                         | 4                               | 4                        | 3                          |
| 福岡県  | 3                               | 3                                 | 3                           | 4                              | 4                   | 4                         | 3                               | 4                        | 3                          |
| 佐賀県  | 4                               | 3                                 | 4                           | 2                              | 3                   | 3                         | 4                               | 3                        | 3                          |
| 鹿児島県 | 4                               | 4                                 | 4                           | 3                              | 3                   | 3                         | 4                               | 4                        | 4                          |
| 平均   | 3.8                             | 3.6                               | 3.2                         | 3.4                            | 3.8                 | 3.8                       | 3.8                             | 3.8                      | 3.5                        |



#### (4) 17 県から出された考察とまとめ(抜粋)

| 茨城県   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・今後、職場で事例検討ができるかという問いには、91%ができると回答があった。</li><li>・ケースを一人で抱えるのではなく、チームでアセスメントすることで解決の糸口を見つけ、チームで支援していくことの重要性が共通認識できた。</li><li>・事例検討を生活習慣病、精神、介護予防、母子保健の4項目を設定したため、様々な分野の保健師の参加が得られた。</li><li>・過去の事例検討会の実施に関するアンケートや評価から、より多くの新任期保健師とプリセプターが参加し経験することで、今後も事例検討会を定着させていく必要がある</li><li>・事例は、新任期であっても処遇困難な事例が多いことから、この事例検討会の手法を用いてアセスメント能力を強化していくことが必要である。</li></ul>  |
| 栃木県   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度は研修スタッフや会場等の事情から募集定員を30名に削減して実施した。<br/>(昨年度は40名募集) 実施する上では30名程度が進めやすい人数であると思われる。</li><li>・今年度は新任期保健師の参加が多く、指導保健師となる中堅期保健師の参加が少なかった。中堅期の保健師は他の研修会でも参加率が低い状況である。今後、中堅期保健師の参加を増やすための方策を検討していきたい。</li><li>・受講者は一様に事例検討の有効性を感じているが、職場に戻って事例検討会を職場内で定例化していくためには、管理的な立場にある保健師の理解が必要である。</li><li>・栃木県内において、定例的に事例検討会を位置づけて実施している自治体も少しずつ増えているものの、まだ実施されていない所が多い。そのため、今後は、それぞれの施設の管理的な立場にある保健師への働きかけを行っていく必要があると思われる。</li></ul>  |
| 埼玉県   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・内容は主に行政保健師の実践を考慮していたため、行政保健師の参加が多かった。運営も問題なく、研修目的は参加者に伝わった。</li><li>・参加者のアンケートでも保健師のスキルアップの必要性や自身の課題を振り替える等、成果は得られている。しかし相互の交流の時間は十分でなかった。</li><li>・新任期保健師や中堅以上でも久しぶりに母子保健担当する保健師にとって、学びやすい方法であった。母子だけでなく生活習慣病を抱えた家族も含め、家族全体を支援する保健師の働きについて事例を通じて丁寧に学ぶことができた。</li><li>・基本的には新任期保健師の参加を呼びかけ、職場における後輩を直接指導する立場の保健師をファシリテータに迎えて実施した。このことから、研修後に各職場においても実践できるような方法で開催しており、参加者の満足度は高かった。</li></ul>  |
| 東京都   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・事例検討では新任期保健師の2事例を同時進行とし、十分な時間をかけたが、グループの26人ずつは多かったという意見があった。今後は、一人ひとりが検討参加できるよう事例検討グループは10人くらいで4グループが良いと思われる。</li><li>・受講者は、講師以外でみると、新任期が46%、地域包括支援センター職場が57%で、ねらいの対象者の参加が得られた。受講者から事例提供希望があり、対象の現場に即した検討会ができた。</li><li>・人材育成に取り組める関係性構築や、関係機関等と協働・連携するための働きかけについては、勉強会や事例検討会などに参加したいという希望者が多くいるため、都内の数か所で参加できる拠点作りが必要であると思われる。</li><li>・事例検討では、精神的な問題よりも健康全般や生活習慣病・特定健診から入ることの有効性、趣味を話題に強みを生かすことの具体的な支援策、年齢で分けられている保健部門との連携の地域の課題など、保健師としてのアセスメントが深まり、事例の捉え方に広がりが見られ、事例提供者・受講者ともに、「とても良かった」との感想であった。</li><li>・ファシリテータに苦手意識があり、もっと学びたいという声がある。</li></ul> |

| 長野県   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数は、実施しやすい人数であったが、昨年よりやや少なく、実施時期が12月～1月のほうが参加しやすいことも考えられる。</li> <li>・昨年までの反省から、新任期でも情報を整理しやすく、アセスメントを出しやすくするために、付箋を使用した。</li> <li>・生活習慣病や母子事例は、意見が活発に出されていたが、精神疾患の事例では、少し難しかったこともあり、比較的経験年数の少ない保健師は、難しかった点もあった。</li> <li>・各職場で、この方法と同様に事例検討会を実施するようになってきているが、ファシリテータによって方向が上手く出せないこともあり、ファシリテータの育成も実施していきたい。</li> <li>・業務についての情報交換は、新任期と新任期のフォロー研修において、実施しているため、新任期フォロー研修実施後この事例検討会を実施していきたい。</li> </ul>  |
| 富山県   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が中心だったが、病院で保健師として働く者の参加もあり、今後も領域を拡大したい。</li> <li>・事例発表者は、日頃聞けない参加者のいろいろな意見を聞くことができ、大変参考になったと述べていた。</li> <li>・早期から計画を立て、関係者への周知も行ったので時期としては適切だった。しかし、産業、医療、教育分野からの参加が少なく、今後はアプローチ方法の検討が必要である。</li> <li>・参加者からは「個別的ケアのアセスメント能力の向上につながり、保健指導のスキルアップにつながった」との声がきかれ、一定の成果があったと思われる。<br/>新任期の保健師だけでなく、指導者の力量形成にもつながった。</li> <li>・次回の継続を望む声もあり、産業や医療などの分野を広げることが検討していきたい。</li> </ul>   |
| 福井県   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例提供者の事例検討会後の満足度は高かった。多角的な意見をもらえ、それぞれが担当であった場合を想定、サポート的な雰囲気の中でグループワークができていたことが要因ではないかと考える。</li> <li>・1回の体験だけではスキルアップは難しいため、職場での事例検討会や研修会を通して組織全体のスキルアップのためのしくみづくりが必要と考える。</li> <li>・参加者の反応は概ね良好で事例検討会を自組織で開催したいという意向がみとれた。</li> <li>・1回の研修で終わらず、自組織内で定期的に事例検討会を開催する機運やしかけが重要である。<br/>昨年度の保健指導MTGを受けて定期的に自主的な事例検討会を開催しているところもあれば、今回の保健指導MTGが契機となり事例検討会をやってみた組織や、従来からある定期的な勉強会に組み入れようとしている組織もみられた。</li> <li>・波及効果として今回の保健指導ミーティングをきっかけにして事例検討会が各組織で開催されている動きがあることは評価できる。今後の開催の実績や、事例検討会運営にかかわる課題や疑問などを受けてニーズに応じた保健指導MTGを継続的に開催していく必要があると考えられた。</li> </ul> |
| 三重県   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例提供者については、事例の選択から相談にのり、レポート作成までサポートすることができた。</li> <li>・事例検討をしたことがない、事例検討の手法がわからない、事例検討をすることへの緊張感がある等々の意見が出されたが、今回の研修をとおして、実践してみることでの理解につながり、安心感をもてたという感想が得られ、実践体験することでの学びがあったようである。</li> <li>・職場で実践的に取り組んでいるところも増え、個の事例とじっくり向き合う保健師の姿勢が感じられた。</li> <li>・初めて事例検討に向き合い、その有効性を感じた出席者もあり、幅広い領域で定着していくには、行政や大学、専門領域等々のさまざまな人材育成計画との連携も必要と思われる。</li> </ul>   |

### 大阪府

- ・事例は新任保健師に依頼したが、今年度は行政以外で新たに地域包括支援センターから事例提供があり、母子、難病、生活習慣病、高齢者と幅広く事例検討ができた。
- ・グループ討議では、ファシリテータを職能委員が行い、参加者全員が発言することができた。それぞれの事例について各グループで発表してもらい、事例を共有し、より学びを深めた。グループ発表では時間内にプレゼンテーションする能力も合わせて学べた。
- ・研修の成果としては、アンケート結果から、「自身の保健指導の課題に気づくことができた」「自身に必要なことを学ぶことができた」「今後のスキルアップへの動機づけができた」等の項目において高い学習効果が得られ、満足度も高かった。
- ・領域を超えたネットワークの形成について、地域包括支援センターからの事例提供や生活習慣病のテーマを加えて産業保健分野が参画しやすいように工夫し、「保健師だけの事例検討は初めてで、保健師ならではの意見を聞くことができて楽しかった」「保健師の研修会は珍しいのでまた参加したい」という感想があった。保健師職能として、保健分野のみならず、福祉、医療、産業、教育等の保健師同士が連携する機会となるように、今後も研修企画や周知方法を工夫して継続していく必要があると考える。

### 奈良県

- ・参加した行政の新任は、主体的に事例を提出・報告・発表できた。しかしプリセプターの参加が少なかったため、人材育成の視点で、来年度は必ずプリセプターと共の参加を募集案内としていきたい。
- ・事例検討をとおして、保健指導の振り返りや自分の行動を意識する機会となった。
- ・県の協会と県の人材育成の担当課が、事前打ち合わせから協同実施し、2年後には、人材育成の事業に移行予定であることも共有できている。
- ・行政の新任保健師やプリセプターを主な対象として企画したので、今後は保健指導という切り口で、多様な領域の保健師への参加案内や交流のできる企画を決定していきたい。
- ・事例検討を通して、新任のみならず、プリセプターの立場にある者やスタッフもアセスメントの重要性について改めて学ぶことができた。

### 和歌山県

- ・コーディネータの時間的な進行管理が良かったため、時間内に今後の方向性まで検討することができた。
- ・ファシリテータの進行が良かったため、円滑に発表することができ、多くの意見が出た。
- ・保健師がよく関わる事例を中心に事例検討会を実施したので、意見が出やすく、参加者一人ひとりが発言しやすかった。
- ・事例検討をすることで、自分が関わった事例であるかのような擬似体験ができ、今後の事例対応に活かせると、参加者から好評であった。
- ・グループワークでは、新任期、中堅期、管理期保健師が同じグループであり、世代を超えた意見交換ができた。また、各グループから発表し、参加者全員で意見を共有することができた。

### 岡山県

- ・経験年数に関係なく、自発的に活発な発言があり、ファシリテータの進行は良かった。
- ・参加者の表情も良く、「楽しかった」「今後自分の職場でも実践できそう」という評価が多かった。
- ・保健指導ミーティング前（午前中）に、地域共生社会における精神保健に関する講義で、個別事例の見方の視点を整理してから、事例検討することができたのでグループ討議の内容が深まった。
- ・さまざまな視点からの意見が出たことや情報交換が深められ、より質の高い保健指導ミーティングができたといえる。
- ・精神疾患と生活習慣病の保健指導をテーマにしたことで、多様な領域の参加を得ることができ、多領域の保健師間のネットワークづくりにも有効であった。

### 香川県

- ・保健指導ミーティングでは、ファシリテータ研修での学びを実践に生かし、事例検討をスムーズに進めることができた。参加者も、具体的に事例を検討することで、アセスメントの重要性を理解できていた。
- ・新任期保健師が、自己の保健活動を振り返り、課題を共有し今後の方向性を見いだせた。
- ・保健指導ミーティングフォローアップ研修の目標について、前回の事例検討後、職場に持ち帰り実践してどうだったかを共有するとともに、様々な職場で働く保健師同士のネットワークづくりとした結果、事例検討後の振り返りができ、さらに参加者同士交流ができ、仲間づくりにつながったのではないかと思われる。
- ・事例を用い研修を行うことにより、保健師が悩んだり迷ったりした場面がより具体化される。事例を共有し話し合うことで、保健師としての固有の技術が磨かれ、個人のスキルアップにつながると考える。
- ・新任期・中堅期・管理期の世代を超えた交流が少なくなってきた中で、この保健指導ミーティングで県内全域の保健師が交流できる機会となることは有意義であると考え。保健指導ミーティングを今後も継続して開催していきたい。

### 愛媛県

- ・「ファシリテータ編」受講者からは、演習の中で、模範となるファシリテータの検討会を見てみたかったとの意見があった。来年度、企画時に検討したい。
- ・参加者の満足度は高く、自施設で実施するために参加された保健師も多かった。
- ・自組織での実施を念頭に置いての参加者もいて、県内での実施の広がりを感じている。
- ・次年度は、「入門編」によりスキルを磨くための「ファシリテータ編」の実施を企画するとともに、事例検討会後の情報交換や仲間づくりのところも追加したい。
- ・どのような事例でも対応できるよう保健師のスキルとして、アセスメント力とファシリテータ力を身につけることが、強みとなると考える。

### 福岡県

- ・事例テーマを4分野としたことが、様々な領域からの参加につながったと考える。
- ・事例テーマは、いずれも困難事例であったが、事例検討シートを事前に作成し、関係者で共有したことで、シート作成者(事例提供者)にとっては、検討会前にケースの振り返りと話し合いの焦点を見極めることにつながり、ファシリテータにとっては、進行の方向性のある程度予測することが可能になった。
- ・グループ分けでは、経験年数・所属を配慮し、出された意見が偏らないよう、かつ階層や職域を超えた保健師間のネットワークができるように配慮した。
- ・検討会終了後には独自に作成した「振り返りシート」を活用した個人の振り返りと共に、全体でも共有し、事例に共通する背景を抑え、臨機応変に対応について説明を加えたことなどで、参加者の学びが深まったことが影響しているのではないかと考える。
- ・「保健指導ミーティング」で、様々な職場の人と事例検討を経験できることが参加者の自己効力感につながっている。職場内でするよりも意見が言いやすいというメリットもあり、職場を超えた事例検討会の開催の学習効果のメリットが大きい。

### 佐賀県

- 事例検討会、振り返りのグループワークではほぼ全員が発言できており、保健指導の楽しさ、やりがいを感じた者も多く、再度実施して欲しいとの意見があった。
- 経験や職域の違いはあるが、事例検討会の実施によりそれぞれの事例について共有し、意見交換できたことは良かった。
- 保健師活動において県（保健福祉事務所等）と市町の役割分担により、日常業務で関わる事例が偏ってきている。特に新任期では他者の事例の検討をすることで、自己のアセスメント力を身につけると共に、事例を通してお互いの業務を理解しあうことができた。
- 事例検討会に取り組んで5年目であるが、ここ数年各職場でも継続して実施しているところもあり、実施方法等に慣れてきている。さらにファシリテータの力量も向上し、スムーズな事例検討が実施できており、保健指導力の向上につながっている。
- 新任期保健師が積極的に発言できるように配慮したことで、事例の情報整理の仕方やアセスメント力が向上し、同時にケースワークへの実践力が高まった。

### 鹿児島県

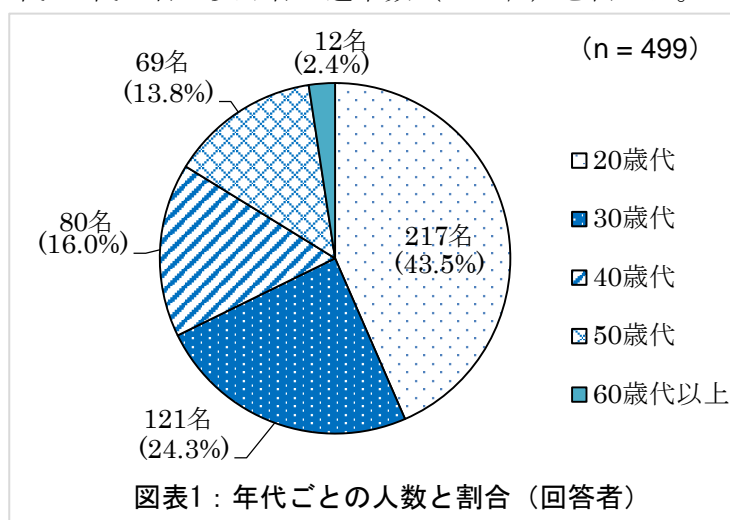
- 繰り返し参加の呼びかけを行うことで、新任期を含め、様々な地域や領域からの参加が得られた。参加について、一所属から複数の参加者があった。
- 方式をワールドカフェにしたことで、さまざまな意見交換や多数の方と交流が図れた。また、多くの事例を体験することにも繋がった。
- 新任期の抱える複雑な事例を検討することで、プリセプターが新任期へ支援方法にも繋がったと考える。また、生活習慣病等を併せ持つ事例への対応や予防介入の理解も進んだ。
- 手法を学ぶことと手法を実際に現場で実践するために必要なことを考えることができた。
- 県保健師長会、県、コーディネータと企画初期から積極的に連携し、効果的なミーティングが実施できるよう計画した。今回をきっかけに関係機関がより密に連携し、保健師人材育成に取り組んでいけると良い。

## (5) 参加者アンケートの実施結果(各県共通項目で実施)

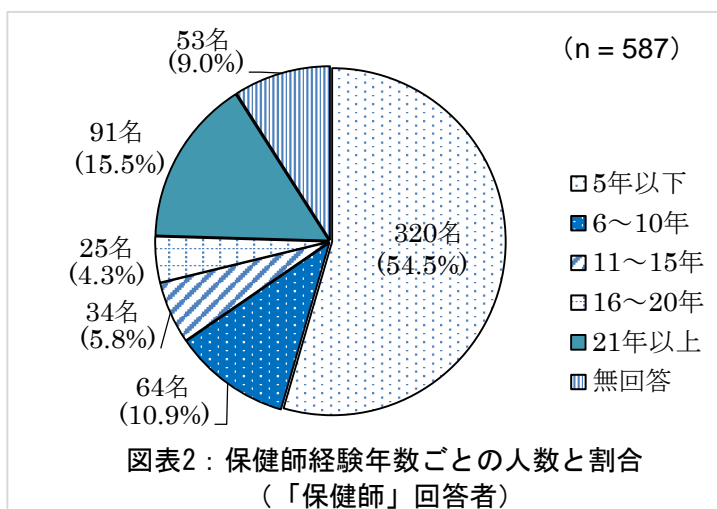
以下にまとめて17県分の参加者アンケート結果を示す。(使用アンケート質問紙は「資料」参照)

### ① 参加者数および参加者の属性について

- 総参加者数は、運営スタッフ（講師・職能委員等）249名を含む延べ859名であった。
- アンケート協力者は、総参加者数859名から、講師21名と香川県の2回目の参加者19名（同一参加者を対象に2回開催、初回のみアンケート実施）の計40名を除く819名中624名で、回収率は76.2%であった。（埼玉県・愛媛県も2回開催したが、それぞれ別の参加者を対象に開催。運営スタッフについては、各回到回答したため延べ人数。）
- 回答者624名のうち、女性は605名（97.0%）、男性19名（3.0%）であった。そのうち、年齢の記載があった499名の内訳は、20代217名（43.5%）30代121名（24.3%）、40代80名（16.0%）、50代69名（13.8%）、60代以上12名（2.4%）であり、20代30代の若い参加者が過半数（67.8%）を占めた。



- 「職種」の問いに回答があったのは616名で、そのうち保健師が587名（95.3%）で、看護師7名（1.1%）、助産師2名（0.3%）、その他が20名（3.3%）だった。
- 「保健師」と回答のあった587名の保健師経験年数の内訳は、5年以下が320名（54.5%）6～10年が64名（10.9%）、11～15年が34名（5.8%）、16～20年が25名（4.3%）、21年以上が91名（15.5%）、無回答が53名（9.0%）であり、本事業の主な対象である新任保健師（経験年数5年以下）の参加者が過半数（54.5%）を占めた。



- 「所属」の問いに回答があったのは620名で、そのうち「市町村」が244名（39.4%）と最も多く、次いで「都道府県型保健所」91名（14.7%）、「地域包括支援センター」82名（13.2%）、「都道府県（保健所以外）」65名（10.5%）、「保健所設置市・特別区」63名（10.2%）、「病院」27名（4.4%）、「企業・事業所」15名（2.4%）、「健診センター・労働衛生機関」15名（2.4%）、そして「その他」7名、「教育・研究機関」6名、「介護老人保健/福祉施設」3名、「医療保険者、訪問看護ステーション」は各1名であった。幅広い分野から参集していることが見てとれるが、地域包括支援センター、産業分野など保健師の一人配置の所属から更なる参集が得られるよう広報していく必要がある。

## ②参加者の回答状況

- ミーティングに参加した理由（複数回答）  
「興味あるテーマだったから」が393名（64.4%）、「保健指導のスキルアップをしたいから」が332名（54.4%）であった。

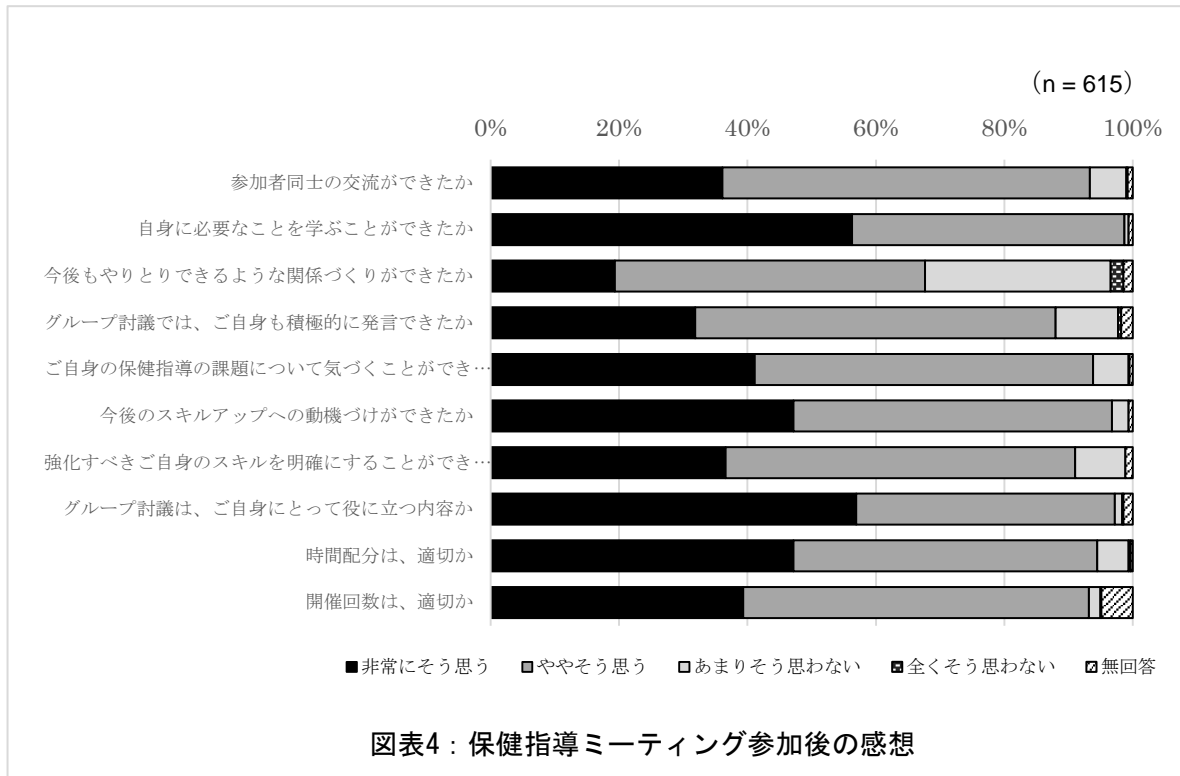
(n = 610)

|                       |      |       |
|-----------------------|------|-------|
| 興味あるテーマだったから          | 393名 | 64.4% |
| 保健指導のスキルアップをしたいから     | 332名 | 54.4% |
| 日々の保健活動に課題を感じているから    | 153名 | 25.1% |
| 自分の実践を振り返る機会を持ちたかったから | 129名 | 21.1% |
| 同じ職種や違う職種と交流したかったから   | 82名  | 13.4% |
| 参加費が無料だったから           | 81名  | 13.3% |
| 友人・同僚に誘われたから          | 76名  | 12.5% |
| 興味ある講師等だったから          | 73名  | 12.0% |
| 毎年継続的に参加しているから        | 27名  | 4.4%  |
| いつも看護協会の研修を受けているから    | 15名  | 2.5%  |
| その他                   | 44名  | 7.2%  |

図表3：保健指導ミーティングに参加した理由（複数回答）

● ミーティングへの参加後の感想

「自身に必要なことを学べた」については、『非常にそう思う』と『ややそう思う』を合わせた回答数は 607 件で全体の 98.7%、「グループ討議が役に立った」の同回答数はを合わせると 598 件、97.2%であった。また、「今後のスキルアップへの動機づけができた」についても同回答を合わせると 595 件、96.8%と高い評価であった。





## 4. 平成 29 年度実施結果のまとめ

---

### 1) ミーティングの実施状況

- 今年度の保健指導ミーティングは 17 県で開催。参加者は 610 名、これに運営スタッフ（講師・職能委員等）249 名を含め、総参加者数は延べ 859 名であった。
- 講師（21 名）を除く参加者 838 名の所属領域は、行政分野からの参加者が 667 名（79.6%）と最も多かった。また 838 名のうち、新任保健師が 364 名（43.4%）、それ以外（プリセプター等）は 474 名（56.6%）であった。
- 開催回数は、1 回が 14 県、2 回が 3 県であった。  
2 回開催県については、同参加者を対象に 2 回開催した県は 1 県（香川県）、2 回とも個別の研修としてそれぞれ別の参加者を対象に開催した県が 2 県（埼玉県、愛媛県）であった。
- 開催時間は、1 日開催が 7 県、半日開催（午前または午後のみ）が 10 県であった

### 2) 企画や周知について

- 17 県とも開催前の事前打合せとして、職能委員を中心にコーディネータ・講師・実践事例発表者を交えた打合せを実施し、プログラム・企画の内容について検討を行った。
- 会員への周知については、県協会ホームページ、会報誌をはじめ、会員名簿やメーリングリスト等を活用した。
- 非会員へは、県の主管課や保健師関連団体への協力依頼、研修で周知を図った。
- 会員・非会員ともに職能委員長や職能委員による直接の呼びかけを行った。

### 3) 各県でのプログラムの内容

- ミーティングを実施した 17 県すべてで、事例検討会が開催された。
- 17 県すべてで、事例検討会の意義や手法等の講義の後、事例検討会が実施された。
- 事例は生活習慣病予防に加えて、精神保健や母子保健、介護予防をテーマとしたものなどが取り上げられていた。また、生活習慣病予防と併せて複合的なテーマも見受けられた。

### 4) ミーティングの評価・効果等について

- 実施評価について、「目標が達成できるように、実践事例発表を行えたか」、「グループ討議では、参加者一人ひとりが発言できたか」、「プログラム運営に必要な人員・人材を確保できたか」の 3 項目は 平均 3.9（4 点満点）と高い評価が得られた。
- 結果評価について、「新任の保健師が自身の実践を振り返ることができたか」、「自身の考え方や行動の問題点を意識する機会となったか」などの 4 項目が平均 3.8（4 点満点）と高い評価であった。
- 企画評価について、「新任の保健師を主な対象とした事業として適切な企画内容だったか」「事業の目的・目標の設定は適切だったか」など 5 項目が平均 3.8（4 点満点）と評価が高かった。
- しかし、実施・企画評価ともに、多様な領域の保健師の参加が得られたかの評価についてが平均 3.0～3.2（4 点満点）とやや低かった。
- 各県の考察とまとめから、保健指導ミーティングをきっかけに、各組織で事例検討会が定期的に開催されつつあることが伺える。

- 10年間で43県での開催、延べ9,000名を超える参加を得た。また、「保健指導ミーティング」を県の人材育成計画の研修として、実施及び実施検討している県も見られる。
- これらの取り組みは重要であり、保健師の系統的な現任教育体制の推進に向け、キャリアラダー・キャリアパスを作成する際にキャリアレベルA-1～A-2相当に「保健指導ミーティング」を位置づけるといった展開が期待される。

## 5. 今後の保健指導ミーティングの開催に向けて

---

### 【今年度の実施】

前年度に引き続き、新任保健師及び指導保健師（プリセプター）を主な対象に、本会が開発した事例検討会の手法「実践力Up事例検討会\*1」を保健指導ミーティングにとり入れることを推奨し開催した。また、各道府県の取り組みを支援するためのツールとして、本会が平成26年度に作成した「ファシリテーター\*2の手引き」を活用し、ファシリテーターの育成・効果的なグループワーク実践に取り組んだ。

参加者は、行政分野にとどまらず、地域包括支援センターをはじめ、産業、健診・医療機関、福祉等の領域で働く保健師への周知に力を置き、領域の拡大を図った。

また、自治体保健師の人材育成体制構築の推進に向けて「自治体保健師の標準的なキャリアラダー」（平成28年3月厚生労働省）と連動させ、新任保健師の対象をキャリアレベルA-1～A-2相当として展開した。

（\*1：「実践力Up事例検討会」について：P1参照）

（\*2：ファシリテーターの表記について：P2参照）

### 【課題】

各県が工夫し保健指導ミーティングを実施した中で、以下については今後の課題と考えられた。

#### 1. 事例検討会（グループワーク）の進め方

ファシリテーターの力量により進行内容や事例検討の理解に差がでるとの意見があった。新任保健師と指導保健師が、事例検討を通して得た学びを発表・意見交換できるよう、引き続き、ファシリテーターの育成や、より効果的なグループワーク実践の検討が必要である。

#### 2. 参加者のネットワーク構築

多様な職場で働く保健師間のネットワークづくりの機会につながったとの声も寄せられた一方、結果評価において、「業務に関連する情報交換ができるような仲間づくりができたか」、「業務に関連する連携ができるような見通しがたったか」に関して各3県（延べ4県）が『あまりそう思わない』との評価であった。階層や職域を超えてのネットワーク作りは、1回の検討会では、難しいとの声もあり、継続的な開催が望まれる。

#### 3. 多様な領域の保健師の参加について

実施評価において、「様々な領域から新任期の保健師を集められたか」に関して17県中7県が『あまりそう思わない』との評価であった。多様な活動領域（行政・地域包括支援センター、産業、健診・医療機関、福祉、その他）からの参加ができるよう更なる周知・方策が求められる。

## 【今後に向けて】

今後の保健指導ミーティングの開催に向けては、以下が必要と考えられる。

- ・事例検討会の手法「実践力 Up 事例検討会\*1」の普及促進

(\*1：「実践力 Up 事例検討会」について：P1 参照)

保健指導ミーティングにおいて用いられている事例検討会の手法「実践力 Up 事例検討会\*1」について、本会に多数の問合せが寄せられている。本会ホームページにも全文を掲載しているが、効果的なグループワークに向けたファシリテータの育成に向け、手法の普及について別途検討をしていくことが必要と考えられる。

- ・参加者拡大に向けた県の担当課や関係団体との連携や周知の実施、参加者拡大方法の検討の継続
- ・県や市町村の人材育成計画に保健指導ミーティングで行われている内容が位置づけられるような継続的な働きかけ

地域包括ケアの推進がますます保健師に求められる時代となっている。保健師活動指針（平成 25 年 4 月厚生労働省健康局長通知）にある「保健師の保健活動の基本的な方向性」をより推進できるよう本事業のあり方をさらに深めていきたい。



## 資料



II. 本日の保健指導ミーティングについてお尋ねします。

1. 今回はどのような内容でしたか(○はいくつでも)

[ 1. 講演会 2. 事例検討 3. 実践事例発表 4. グループワーク 5. その他 ]

2. 以下の項目について、該当する番号に○を付けてください。(○は1つだけ)

| 質問                              | 回答欄               |                  |                         |                        |
|---------------------------------|-------------------|------------------|-------------------------|------------------------|
|                                 | 4.<br>非常に<br>そう思う | 3.<br>ややそ<br>う思う | 2.<br>あまりそ<br>う思わ<br>ない | 1.<br>全くそ<br>う思わ<br>ない |
| <b>〔皆様へお伺いします〕</b>              |                   |                  |                         |                        |
| (1) 参加者同士の交流ができましたか             | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (2) 自身に必要なことを学ぶことができましたか        | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (3) 今後もやりとりできるような関係づくりができましたか   | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (4) グループ討議では、ご自身も積極的に発言できましたか   | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (5) ご自身の保健指導の課題について気づくことができましたか | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (6) 今後のスキルアップへの動機づけができましたか      | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (7) 強化すべきご自身のスキルを明確にすることができましたか | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (8) グループ討議は、ご自身にとって役に立つ内容でしたか   | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (9) 時間配分は、適切でしたか                | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (10) 開催回数は、適切でしたか               | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| <b>〔2. 事例検討に○をつけた方にお伺いします〕</b>  |                   |                  |                         |                        |
| (1) 事例検討が重要であると思う内容でしたか         | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |
| (2) アセスメントが重要であると気づく内容でしたか      | 4                 | 3                | 2                       | 1                      |

■その他ご意見等ございましたらお聞かせください。

■アンケート結果は、本事業の目的以外には使用せず、分析は統計的に処理するとともに適切な取り扱いをします。  
個人が特定されることはございませんので、ご安心ください。  
ご協力ありがとうございました。

平成 29 年度 厚生労働省保健指導支援事業人材育成事業

## 「保健指導ミーティング」実施報告

---

平成 29 年 厚生労働省  
保健指導支援事業 人材育成事業

### 「保健指導ミーティング」実施報告

発行日 2018 年 3 月 31 日  
編集 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部保健師課  
発行 公益社団法人 日本看護協会  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2  
TEL 03-5778-8831 (代表)  
FAX 03-5778-5601 (代表)  
URL <http://www.nurse.or.jp>

---

※本書からの無断転載を禁ずる